

## ② 水害時の避難に関する心得

安全な避難行動をとるために

### 「自分の身は自分で守る」

洪水の危険が迫って来たときは、次の点に注意し無理をせず安全な避難を心がけましょう。

避難の呼びかけに注意し速やかに避難



動きやすい格好・2人以上で避難



安全な避難経路の確認



正確な情報収集と自主的避難



川の近くを通らない



車での避難はしない



浸水時に避難する場合

浸水している場所ではさぐり棒を持ち、溝や水路の存在に注意しましょう



万が一逃げ遅れた場合

無理をして避難せず、近くの高いところに移動して救助を待ちましょう



### 災害時要援護者の避難に関する心得

－ 災害時要援護者をみんなで守りましょう －

災害時に自力で避難することが困難で助けが必要な方とは、日頃から積極的にコミュニケーションを図って、みんなで協力し安全に避難しましょう。

目の不自由な方には

杖を持つ手と反対のひじのあたりに軽くふれ、階段など「障害物の説明をしながらゆっくり歩きましょう



体の不自由な方には

複数の人で対応しましょう。緊急のときは背負うなどして避難します



高齢者や病気の方には

背負ったり、ひじや肩につかまってもらったりして誘導しましょう



耳の不自由な方には

口を大きく動かしゆっくり話したり、身ぶりや筆談などで正確な情報を伝えましょう

